



ゼッタイに後悔しない ために予習しておこう!

設置後
【以降ずっと】

販売店やメーカーは
ある意味パートナーである

設置が終り電力会社との系統連携を確認したら、システムの稼働開始。ここから長ければ20年以上の付き合いになるわけだが、まずはチェックすべきは初期不良。パネルの出力が明らかに落ちたりパワーコンディショナやモニタが故障した場合はそれぞれのメーカーに報告、保証期間内ならば修理・交換の対象となる。工事后、屋根から雨漏りが生じたり配線に不備があったりなど、施工に関する不良であれば販売店に報告。「施工保険」に加入している販売店であれば、無償で対応してくれる。設置後も長く使う太陽光システムだけに、自ずとメーカーや販売店との付き合いも長くなるというわけだ。



「稼働後の出力ログは意外と重要。
場合によっては第三者機関を利用」

いかに出力保証が効いていても、ユーザー自身が不良に気づかなければ意味がありません。したがって、毎日の出力チェックは必要不可欠となります。つまり出力異常に目を光らさなければならぬわけですが、最近ではそれをクラウド上で監視してくれ、知らせてくれるというサービス「エコめがね」もあります。導入に3万1500円、月額390円と手頃ですので、長い目で見れば利用してもいいでしょう。



エコめがね
eco-megane.jp/

主なメーカー別の保証・定期点検体制									
シャープ	京セラ	三菱	パナソニック	東芝	ソーラーフロンティア	サンテック	カナディアンソーラー		
日本	日本	日本	日本	日本	日本	中国	カナダ		
保証期間 モジュール 周辺機器 定期点検	10年 10年 10年	10年 10年 10年	10年 10年 10年	10年 10年 10年	10年 10年 10年	25年 25年 25年			

「工事決定で終わりじゃありません。
工期通りに進んでいるかをチェック」

見積りが決まり販売店と契約したら、スケジュールの打ち合わせです。いつ工事が開始され、いつ発電ができるようになるのか。販売店に発電開始までのスケジュールを出してもらって、工程通りに工事が進んでいるかをしっかりと確認しましょう。これを怠ると、「契約したはいいものの、なかなか工事が始まらない・進まない」なんてこともありますので注意です。



施工の流れをわかりやすく示したもの。一口に工事といっても、システムが正式稼動するまでには様々な工程があるのだ。

購入者は必見! 66 太陽光が屋根に乗るまで⁹⁹ ロードマップ

数年前よりも手が届きやすくなったとはいえ、太陽光システムはまだ高い買い物であることに変わりない。購入予定者はここで予習しておこう!

イラスト／ひらのんさ

見積り決定から設置工事まで

【最短で1ヶ月】

アフターメンテナンスも視野に入れて検討する

各社の見積りが出揃ったら、それの情報をよく分析する。第一の軸としては構成が好みのもので、かつ価格に見合っているかどうかを見極める。

そして次の軸は、メーカーおよび販売会社のサービス体制。多くの場合、自動車よりも長く使うものだから、設置後のメンテナンス体制にもしっかり注目したい。もちろん価格が安いに越したことではないが、コストが多少かかっても「販売店が施工保険に入っているか」「アフターメンテナンス体制が明確かなど、設置後の安心」を確保したい。※主なメーカーのメンテナンス体制はページ左下の表を参照

【最短で1ヶ月】

アフターメンテナンスも視野に入れて検討する

各社の見積りが出揃ったら、それの情報をよく分析する。第一の軸としては構成が好みのもので、かつ価格に見合っているかどうかを見極める。

そして次の軸は、メーカーおよび販売会社のサービス体制。多くの場合、自動車よりも長く使うものだから、設置後のメンテナンス体制にもしっかり注目したい。もちろん価格が安いに越すことではないが、コストが多少かかっても「販売店が施工保険に入っているか」「アフターメンテナンス体制が明確かなど、設置後の安心」を確保したい。※主なメーカーのメンテナンス体制はページ左下の表を参照

販売店から見積りを取る

【最短で1ヶ月程度】

後悔しないために、
見積りは最低3社から

現在太陽光パネルを導入する人が急増しているとはいえるが、業界 자체はまだ未成熟と言わざるを得ない。販売店は全国に大小500社も存在し、販売店によって価格やサービス内容に大きく開きが出るなど、ところどころに落とし穴は存在する。ここに陥らないために最も有効なのが「複数社への見積り依頼」だ。(1)自家のエリアをバーチャル調査基準で、導入にどの程度のコストがかかるのかを見積もつてもらう。この時点で大きな額の違いが出るようならば、その理由を聞いておく。同時にコスト感を掴んでおくことも重要なためなので、必ず参考しよう。

STEP3 詳細見積り

現地調査に基づいた詳細見積り。「システム1式〇〇万円」ではなく、パネルの単価×枚数×パワコンの価格、工事費などの内訳がわかりやすくなっているだろうか。ボタンは下の表にまとめてあるので、厳しくチェックしよう。

STEP2 現地調査

詳細見積りには、実際に自宅に来てもらっての現地調査は不可欠。屋根の形状など、内訳がわかりやすくなっているだろうか。ボタンは下の表にまとめてあるので、厳しくチェックしよう。

STEP1 概算見積り

屋根の規模など、各販売店に同じ情報を伝えて、導入にどの程度のコストがかかるのかを見積もつてもらう。この時点で大きな額の違いが出るようならば、その理由を聞いておく。同時にコスト感を掴んでおくことも重要なためなので、必ず参考しよう。

このステップを3社以上分

絶対に後悔しないために、販売店からの見積りと資料、プレゼン内容に欠けているものがないかどうかをチェック。この中の1つでも欠けていると、不安が残る。

- 詳細見積りはわかりやすいか
- 詳細見積りとともに設計図面を出してくれたか
- 発電量シミュレーションを出してもらったか
- アフターメンテナンス計画は明確か
- 工事スケジュールは出してもらったか
- 販売店が施工保険に入っているか
- 支払い方法は? (ソーラーローン可かどうか)



株式会社アイアンドシー・クルーズ
代表取締役 上村一 行 氏

太陽光発電の価格比較、一括見積もりサイト「グリーンエネルギー」(ADVICE.02 参照)を運営。サイトを通じて、多くの優良販売店とユーザーを結びつけてきた。

「一括見積もりサイトを、
上手に利用するのもテクニックです」

上で説明した通り、見積りはより多く取ったほうがベターです。しかし販売店探しは時間と手間がかかるので、PC上で一度に複数社とアクセスできる一括見積りサイトを利用するのもテ。下に紹介する我が社サイトは厳しい基準を通り抜けた販売店のみが集まっているのが特長です。



グリーンエネルギー
www.green-energynavi.com/

「補助金の内容は見積りを取る前に
必ず理解しておいてください」

太陽光システム導入には、各自治体から補助金が支給されます。ただしこれは地域によって違うので注意。見積りを取る前に、自分がどれだけ補助が受けられるのかを下のサイトでチェックしましょう。補助金を理解しておくことで、資金計画もガラッと変わります。



太陽生活ドットコム 補助金サーチ
taiyoseikatsu.com/subsidy/

プロのアドバイス